

私たちは、内閣府開催の「少子化危機突破タスクフォース」が提案する「生命と女性の手帳」の作成・配布に反対します。

女性手帳があっても産めません。

働き続けられる環境がなければ産めません。

妊娠・出産は女性だけの問題ではなく、少子化は女性の意識のせいではありません。

政府の人口政策で、性／生を管理されたくありません。

標準的家族像を押しつけること、女とされるひとは産む、と決めつけることに反対です。

女性手帳は、性的マイノリティを生きづらくさせ、排除・抑圧します。

産んでも産まなくても、誰もが生きやすい社会が必要です。

産む・産まないは、一人ひとりが決めます。

2013年 5月 19日

女性手帳に反対する緊急ミーティング参加者